

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月29日(2021.7.29)

【公開番号】特開2020-58837(P2020-58837A)

【公開日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2020-015

【出願番号】特願2019-233466(P2019-233466)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月17日(2021.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、

該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

所定の静止画像や動画を表示可能な演出表示装置と、

前記遊技の進行に伴って実行される遊技演出に関連して発光可能な発光体と、

該発光体が表実装面に実装される発光基板と、

該発光基板が設けられて遊技盤に配置されるとともに、所定の基準位置と所定の基準位置よりも前記演出表示装置の表示面中央側に移動可能である動作位置とに動作可能な可動装飾体と、

該可動装飾体を動作させる可動手段と、

前記可動装飾体の位置を検出する位置検出手段と、を備え、

前記発光基板の前記表実装面には、白色塗膜が形成されると共に、該白色塗膜上に黄色で形成されて前記発光体を特定可能にする表記部が形成され、

前記白色塗膜による白色が前記発光基板の表実装面を占有する白色占有割合は、前記表記部による黄色が当該発光基板の表実装面を占有する黄色占有割合と比べて大きくされ、

前記可動手段は、前記可動装飾体が前記基準位置にない場合に、当該可動装飾体を前記基準位置に戻すことが可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、本発明においては、

所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、

該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

所定の静止画像や動画を表示可能な演出表示装置と、

前記遊技の進行に伴って実行される遊技演出に関連して発光可能な発光体と、

該発光体が表実装面に実装される発光基板と、  
該発光基板が設けられて遊技盤に配置されるとともに、所定の基準位置と所定の基準位置よりも前記演出表示装置の表示面中央側に移動可能である動作位置とに動作可能な可動装飾体と、

該可動装飾体を動作させる可動手段と、  
前記可動装飾体の位置を検出する位置検出手段と、を備え、  
前記発光基板の前記表実装面には、白色塗膜が形成されると共に、該白色塗膜上に黄色で形成されて前記発光体を特定可能にする表記部が形成され、  
前記白色塗膜による白色が前記発光基板の表実装面を占有する白色占有割合は、前記表記部による黄色が当該発光基板の表実装面を占有する黄色占有割合と比べて大きくされ、  
前記可動手段は、前記可動装飾体が前記基準位置にない場合に、当該可動装飾体を前記基準位置に戻すことが可能である、  
ことを特徴とする。